



一昭和医科大学歯科病院の理念一

患者本位の医療
先進的医療の推進
医療人の育成

発行責任者 病院長 榎 宏太郎
編集責任者 広報委員長 長谷川 篤司
〒145-8515 東京都大田区北千束2-1-1
TEL 03-3787-1151 (代表) いちいちごいち

ホームページ: <https://www.showa-u.ac.jp/SUHD/index.html>

歯が無くなって生じる問題と治療法とは

インプラント歯科 診療科長・教授 宗像 源博

歯が無くなってしまったら、前歯であれば見た目が悪くなります（審美不良）。奥歯であれば食事が取りにくくなります（咀嚼障害）。また、隣の歯が倒れてきたり、噛む相手の歯が出てきたりすることがあります（歯列不正）。さらに、たくさん歯が無くなってしまおうとしゃべりづらくなることがあります（構音障害）。

治療方法は大きく3つあります*（図1～3）。

*適応が限られますが歯の移植という方法もあります。

1つはブリッジと呼ばれる方法です。両隣の歯を削って橋をかけるようにして無くなった歯を回復する方法です。この方法は短期間でしっかり噛める長所はありますが、歯を削ることや残っている歯に荷重負担がかかることが欠点であります。

2つ目の方法は取り外し式の入れ歯です。

まわりの歯を削る量は最小限にでき、短期間で作ることができる長所はありますが、取り外し式という心理的な負担があり、他の方法に比べて噛む力が落ちるといふ欠点があります。

最後の1つは人工歯根を植え込むインプラントです。歯を削らずにしっかり噛める利点は大いですが、手術をしなければならないことや治療期間が長いことが欠点であります。

このように医療は全ての治療に長所と短所がありますので、担当医としっかり相談して自分に合った治療方法を選択する必要があります。



図1 ブリッジ



図2 取り外し式の入れ歯



図3 インプラント（人工歯根）



- P1 歯が無くなって生じる問題と治療法とは
 - P2 診療科紹介：インプラント歯科
 - P3 歯科診療トピック：顎関節症治療科
 - P4 昭和医科大学歯科病院公開講座開催のお知らせ、編集後記
- 記事見出しの色分けをいたしました。

患者さん向け、医療機関向け、お知らせなど

診療科紹介：インプラント歯科

インプラント歯科 准教授 佐藤 大輔

インプラント治療は歯を失った部分の骨にインプラントを埋め込み、その上に歯を装着してお口の機能を回復させる治療です。

昭和医科大学歯科病院には、インプラント治療を行うため多くの患者さんが来院されています。コロナ禍以降、4年連続で毎年度1,000本以上のインプラント埋入手術を行っています。2024年度は、インプラント埋入手術件数872例、総埋入本数1,320本の治療実績がありました。

インプラント歯科は、診療科長の宗像源博教授以下15名の常勤スタッフで、治療にあわせていただいております。月～土曜日まで毎日、予約制でインプラントに関するご相談をお受けしております（インプラント歯科予約直通受付：03-5498-1903）。一人一人の患者さんについて他の方法よりも本当にインプラントの方が良いのか、丁寧に説明いたします。

当院で行うことができる特徴的なインプラント治療について、簡単にご紹介させていただきます。

1. インプラントが怖い方へ：静脈内鎮静（セデーション）を併用した手術

インプラントを入れる際には、点滴からお薬を入れて、恐怖感の少ないリラックスした状態で手術を受けることができます。



治療例 術前

2. オールオンフォーや即時荷重

インプラントを立体的にバランス良く埋めることにより、骨の移植を行うことなく、手術したその日から固定式の仮の歯を装着できる治療術式です（写真）。

3. サイナスリフト（上顎洞底挙上術）・骨移植

顎の骨の量が足りず、そのままではインプラントを入れることができない場合にも、骨を増やしてインプラントを入れることが可能にすることができます。

4. 他院でインプラントをしたが通えなくなってしまう場合のメンテナンス

インプラント治療後、重要なことは、治療後のメンテナンスを継続することです。通常は治療を行った医院でメンテナンスを行いますが、さまざまな事情により通院ができない場合は、当科にて継続したメンテナンスを行っていくことが可能です。

5. 健康保険でのインプラント治療

インプラント治療は原則、健康保険が適用されませんが、腫瘍や外傷で広範囲に顎の骨を失った方、先天的な理由で永久歯が無い方は、健康保険が適用される場合があります。ご相談下さい。



治療例 術後

当科では、スポーツ中に発生する歯やお口のケガを防ぎ、安全かつ快適に競技ができるよう、スポーツマウスガードの作製を通して、スポーツを楽しむ皆様のサポートしております。

スポーツマウスガードには大きく分けて3つのタイプがあります。

まず1つ目は「既製品タイプ」です。

市販されているマウスガードをそのまま使用するタイプで、手軽に使えるのが特徴ですが、フィット感に乏しく、十分な保護力が得られない場合があります。

2つ目は「成型タイプ」で、お湯で柔らかくしてから自分の歯型に合わせて噛み、形を作るタイプです。

既製品よりはフィットしますが、厚みや仕上がりにより個人差が出やすく、激しい接触のあるスポーツには不向きです。

そして3つ目が当科で作製している「カスタムメイドタイプ」です。

これは上の歯の型を取り、一人ひとりのお口に合わせて厚み・形・素材を細かく調整し

て作製されるもので、耐久性・快適性・保護性能のいずれにも優れています。そのため、接触が激しいスポーツでは前歯部分を厚くしたり、試合中のコミュニケーションの必要なスポーツでは会話しやすいように内側の厚みを薄くしたりすることも可能です。また、歯列やかみ合わせにぴったり合う高いフィット感があり、激しい動きでもずれにくく、試合中に気になることがほとんどありません。

現在、種々のスポーツにおいて、マウスガードの装着がルール上で義務化されています。これらのスポーツでは、歯や口腔粘膜の保護だけでなく、顎関節への負担軽減、さらには脳震盪リスクの軽減にもマウスガードが有効であるとされており、選手の年齢や競技特性に応じた最適な設計・調整を行っております。

スポーツマウスガードは、ただの保護具ではなく、「安心してスポーツに打ち込むためのパートナー」です。作製をご希望の方は、ぜひお気軽にスポーツ歯科外来までご相談ください。



写真1 さまざまな色で作製できます



写真2 カスタムメイドタイプマウスガード

第28回 昭和医科大学歯科病院公開講座 「暮らしと健康」～お口の健康～

本年も公開講座を開催いたします。皆様のお口の健康維持にぜひお役立てください。

日時：2025年10月11日(土) 13:00～15:00 (受付 12:30～)

場所：昭和医科大学歯科病院 6階臨床講堂

東京都大田区北千束2-1-1

費用：無料

申込方法：お申し込み不要

第1部：さまざまな口腔粘膜疾患

大場 誠悟（顎顔面口腔外科・診療科長）

第2部：矯正歯科と健康寿命 ～いま、なぜ歯並びが大切なのか～

中納 治久（矯正歯科・診療科長）

第3部：今からできる！お口と身体の健康習慣

渡邊 友梨（歯科衛生士）

★講演後に相談コーナーを設置します★（講演後1時間程度）

講演を行う歯科医師・歯科衛生士が皆様からの相談にのります



大場 誠悟



中納 治久

【注意事項】

※マスク着用をお願いいたします。また、会場内での食事はご遠慮願います。

※当日は病院だより・当院ホームページなどへの掲載・公開のため、写真撮影・ビデオ撮影を行います。掲載・公開を希望されない方は、イベント当日に直接スタッフにご相談ください。ただし、病院だよりなどへの掲載後の場合は対応できかねますのでご了承ください。

昭和医科大学歯科病院 お問い合わせ先電話：03-3787-1151（事務課 公開講座担当）

主催：昭和医科大学・昭和医科大学歯科病院 後援：大田区

編集後記

朝夕の涼しさに、少しずつ秋の訪れを感じる頃となりました。新米や秋の味覚を
おいしく味わえるよう、日頃からお口の健康を保ち、しっかり噛んで季節を楽しみ
ましょう。

(K.A)

